

# 安全データシート(SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

会 社 : 朝日アグリア株式会社  
住 所 : 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222番地  
電 話 番 号 : 0274-(52)-2722 Fax番号 0274-(52)-3509  
緊急連絡先 : 品質管理室 0274-(52)-2722  
文 書 番 号 : QC-SDS-KANTO-64324H-04

【製品名】 粒状BM熔燐

推奨用途及び使用上の制限 : 肥料

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的 危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール及び加圧下化学品	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない	
健康に対する 有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生植細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分1B
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
誤えん有害性	分類できない	
環境に対する 有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
呼吸器の障害  
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

**【安全対策】**  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 取扱い後は手、顔等をよく洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**【応急措置】**  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 直ちに医者に連絡すること。特別な処置が緊急に必要である。(SDSの[4. 応急措置]を参照)  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
 皮膚を水またはシャワーで洗うこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

**【保管】**  
 施錠して保管すること。(P405)  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

**【廃棄】**  
 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し、適正に廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	CAS RN	官報公示整理番号 化審法・安衛法	濃度又は 濃度範囲(wt%)
五酸化りん	1314-56-3	1-523	24.0%
酸化カルシウム	1305-78-8	1-189	35.0%
酸化マグネシウム	1309-48-4	1-465	16.0%
酸化鉄	1309-37-1	1-357	3.0%
酸化マンガン	1344-43-0	1-475	1.2%
三酸化二ほう素	1303-86-2	1-71、9-2403	0.9%
フッ化カルシウム	7789-75-5	1-179	2.0%

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。  
鼻をかませ、うがいをする。多量に吸入した場合は、異状が認められなくても速やかに医師の手当を受けさせること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。  
痛みが続いたりした場合は、医師の手当を受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 目に入った場合 : こすらずに水で数分間注意深く洗浄した後、医師の手当を受けること。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。  
ただちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を良くすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
直ちに医師の手当を受けること。
- 

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災時は保護具を着用し、水・消火剤等で消火に努めること。  
使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 眼に入らないようにする。  
環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質が下水、排水溝、河川に到達しないよう防ぐ。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 飛散ないようにシートで覆う。掃き集めて回収する。
- 

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
安全取扱注意事項 : 容器等を破損しないように取り扱う。破損した場合はテープ等で塞ぐ。  
取り扱い後は手を水で洗う。
- 保管  
安全な保管条件 : 幼児、ペットが誤食しないように保管する。
- 

#### 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 0.05mg/m<sup>3</sup> (Mnとして)  
許容濃度 日本産衛学会 : 0.1mg/m<sup>3</sup> (総粉塵) 0.02mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵) (Mnとして)  
ACGIH  
TLV-TWA : 0.02mg/m<sup>3</sup> (Mnとして)
- 設備対策 : 密閉状態で取り扱う場合には、局所排気装置又は全体排気装置の設置が望ましい。
- 保護具  
呼吸用保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : 化学防護手袋  
眼、顔面の保護具 : ゴーグル  
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の長ズボンや長袖の作業衣等
-

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	固体
色	:	濃緑～黒褐色
臭い	:	甘い芳香臭
沸点又は初留点及び 沸点範囲	:	該当しない
可燃性	:	可燃性はない。
爆発下限界及び爆発 上限界/可燃限界	:	該当しない
引火点	:	該当しない
自然発火点	:	該当しない
分解温度	:	該当しない
pH	:	9.2～9.5
動粘性率	:	該当しない
蒸気圧	:	該当しない
密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	該当しない
粒子特性	:	粒状品

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	化学的に安定。
危険有害反応可能性	:	データなし
避けるべき条件	:	湿気、水濡れを避ける。
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	データなし

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	CAS登録番号:1314-56-3が濃度限界(5%)以上のため区分1に該当。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	CAS登録番号:1314-56-3、1305-78-8の合計が濃度限界(3%)以上のため区分1に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	CAS登録番号:1303-86-2が濃度限界(0.3%)以上のため区分1Bに該当。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	CAS登録番号:1305-78-8、1309-37-1の合計が濃度限界(10%)以上のため区分1(呼吸器)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	CAS登録番号:1305-78-8、1309-37-1の合計が濃度限界(10%)以上のため区分1(呼吸器)に該当。
誤えん有害性	分類できない

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	:	データなし
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 1) 飛散防止に関する一般的注意事項による。
- 2) 破棄する際は、関連法規に従って処分する。

#### 14. 輸送上の注意

国連番号	:	該当なし
品名(国連輸送名)	:	該当なし
国連分類	:	該当なし
容器等級	:	該当なし
海洋汚染物質	:	該当なし
国内規制	:	該当なし
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	:	破損・荷崩れに注意し通行人の眼に入らないようにする。

#### 15. 適用法令

##### 該当法令

- |    |  |   |
|----|--|---|
| 1) | 肥料の品質の確保等に関する法律:肥料の種類<br>肥料の品質の確保等に関する法律:肥料の名称 | 熔成りん肥<br>20.0粒状熔成ほう素マンガん燐肥  |
| 2) | 化学物質排出把握管理促進法:対象化学物質                           | 該当なし  |
| 3) | 労働安全衛生法:<br>通知対象物質                             | 令別表第9 30(マンガん及びその無機化合物)<br>安衛則別表第2 620(酸化カルシウム)<br>安衛則別表第2 624(酸化鉄)<br>安衛則別表第2 628(酸化マンガネシウム)<br>安衛則別表第2 630(酸化りん(V))<br>安衛則別表第2 631(三酸化二ほう素) |

#### 16. その他の情報

- 1) この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。
- 2) また、含有量、物理化学性、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。尚、注意事項は通常の手続きを対象としたものであり特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

##### 引用文献

JIS Z 7253:2025(日本産業標準調査会 審議 日本規格協会発行)  
JIS Z 7252:2025(日本産業標準調査会 審議 日本規格協会発行)  
GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム(NITE-Gmiccs)  
職場の安全サイト GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報(厚生労働省)  
特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者テキスト(中央労働災害防止協会)